

平成25年3月22日

高浜市長 吉岡初浩 殿

第6次高浜市総合計画推進会議

会長 中川 幾郎



「高浜市の未来を創る市民会議」のあり方について（提言）

「第6次高浜市総合計画推進会議」の作業部会である「高浜市の未来を創る市民会議」の平成24年度の運営について、別紙のとおり改善の視点を取りまとめました。

つきましては、平成25年度の運営にあたって、私どもの想いを十分に汲み取っていただきますよう、よろしくお願いたします。



平成25年度の「高浜市の未来を創る市民会議」の運営に向けて【提言】

項目	改善の視点
1. 新しい人材の掘り起しと次世代リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな人材の掘り起こしや、次世代リーダーの育成が必要と考える。これまでのメンバーに加え、少しでも新しい方に参入していただけるよう配慮していただきたい。 ・平成 24 年度は、新規参画の女性たちが高い意識を持って取り組む姿が印象的であった。その分野に造詣の深い人も含め、女性や若い世代など、多様な視点を取り入れるようにメンバー選定をしていただきたい。
2. 市民会議への参画意欲を盛り上げる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会の比重が増え、話し合いが十分行われるようになったことで市民の参画意識は増している。引き続き、このスタンスで進められたい。 ・会議資料をよりコンパクトにして負担感を軽減し、参加することが面白いと思わせるよう努力を続けていただきたい。職員の姿勢によるところも非常に大きい。
3. 職員メンバーの意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度は分科会職員リーダーとの事前調整が密になり、行政が主導的に進めたことを評価したい。 ・会議中、行政的なルールなど市民には不明な部分についての説明もなされ、職員メンバーが上手くリードしてくれた。引き続き、職員メンバーが主体的に会議に参画することを期待する。
4. 連携のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・類似したテーマ、あるいは合同で実施した方が成果の上がるテーマについては、分科会同士が連携がすると良いと考える。分科会職員リーダーや事務局の調整を期待する。
5. 情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・各分科会の取り組み状況の発表や、活動団体の「お知らせコーナー」など、情報共有を大切にしていきたい。